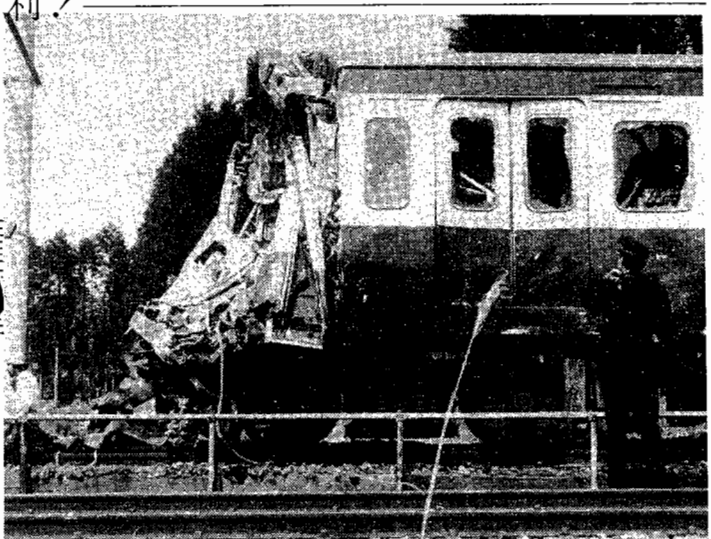


勝利春84・立確保安運転反-弾斜殺虐野平・阻止改勤乗動

4.6局前総決起集会



3・30を忘れるな！ 全ての国鉄労働者は反撃に起とう！

日刊 動労千葉

84. 4. 5

No. 1610

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

動労千葉は四月六日、千葉鉄道管理局前において「84春闘勝利動労千葉総決起集会」を開催します。
今日、国鉄労働者にかけている理不尽な攻撃は、政府・自民党、国鉄当局が体制の矛盾と危機の爆発を労働者の犠牲のうえに「解決」しようとするものです。

三月三〇日、外房線・茂原ノ八積間の細代踏切で起きた衝突事故により、勝浦支部の平野雅夫君が殉職するという事態は、真に当局の営利優先―運輸保安無視から起きたものであり、動労千葉は直ちに抗議行動に突入しました。さらに、三一日に行われた抗議交渉における当局の姿勢は、事故を教訓化し、真剣に運輸保安対策をすすめる立場を放棄したものであったがゆえに、同日、抗議の意と運輸保安の確立を要求して、抗議行動の戦術拡大を決定し指令しました。

われわれは、平野雅夫君の死を無にしないためにも総決起し、反動攻撃を打ち破ろうではありませんか。

動乗勤改悪は「第二・第三の平野君」への道だ

おりしも三月三〇日、運輸保安無視のすさまじい労働強化を強制する動乗勤改悪について、動労「本部」、鉄労が実質的に片切りし、国労がその重圧の下で屈服する事態にたちいました。動労千葉は、大会をはじめとする機関決定に踏まえ、敢然とこれを拒否し、全ゆる手段をもって闘いぬく体制を打ち固めています。

考えてもみよう。
動乗勤制度が改悪されたなら「四週を平均して一週平均四〇時間、一日平均六時間四〇分を超えて乗務割交番を作成する」というのです。すさまじい強制労働を強いられる結果となり、

認めることはできません。

しかし、動労千葉を除く全組合が「大筋了解」した事により、事態は新たな局面を迎えています。あらゆる反動が動労千葉に集中してくることは必至といえます。だからといって敵の攻撃を恐れ、闘いを放棄し、労働者をポロ切れのように使い捨てようとする動乗勤改悪―合理化を受け入れ、奴隷労働に甘んじるならば「第二、第三の平野君」への道をゆるす結果となるのです。

座して死を待つよりも起って闘おう。
今こそこの言葉を思いおこし、反撃にたちあがろうではありませんか。
3・25五割動員を実現した真価を発揮する時がきました。「4・6局前総決起集会」をその突破口としよう。

平野君虐殺抗議 抗議行動の戦術拡大を指令

三月三一日、動労千葉は「平野君殉職」に対する当局の不誠実な対応に抗議し、安全対策の明示を求め抗議行動の戦術拡大について次のとおり指令しました。（指令ヤ15号・84.3.31）

1. 各支部は自分の間、次の各踏切を通過する全列車を対象に当該踏切を通過する間、最徐行運転（15K/H）および気笛吹鳴行動を実施すること。

総武本線・東電踏切・飯倉―八日市場

成田線・諸持踏切・下総橋―下総豊里

〃 仲内踏切・笹川―下総橋

内房線・三反田踏切・袖ヶ浦構内

〃 芝台踏切・保田構内

外房線・細代踏切・茂原―八積

2. 各支部は、四月二日 0時から、四月八日二四時まで、全本線乗務員を対象に乗務中の喪章（黒腕章）着用闘争を実施すること。
以上